

2005年8月30日

各 位

会 社 名 東京応化工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 中村洋一
コード番号 4186 (東証第一部)
問 合 せ 先 広報部
TEL (044) 435 - 3000

中国での半導体・液晶ディスプレイ製造用材料の商業生産開始に関するお知らせ

東京応化工業株式会社および長春石油化学股份有限公司(長春石化社)との合弁会社である長春応化(常熟)有限公司(Chang Chun TOK社)は、半導体および液晶ディスプレイ製造用材料の新工場を本年4月に完成させ試験運転を行ってまいりましたが、このほど商業生産を開始いたしましたので、お知らせいたします。

Chang Chun TOK社は、半導体および液晶ディスプレイ分野でのフォトリソグラフィ工程で主として用いられる高純度化学薬品の製造、販売を行います。中国市場では、半導体および液晶ディスプレイ分野での製造材料の需要が拡大しつつあり、この新工場の稼働により、顧客に密着した安定供給体制を構築すると共に、今後の需要の拡大にも対応できるものと考えております。

当社グループでは、顧客に密着したグローバルなサポート体制の構築をアジア、北米、欧州の各地域において推進しており、本件はその一環となるものであります。パートナーである長春石化社とは、1999年より台湾東應化股份有限公司を合弁で運営して事業を展開してまいりましたが、今後さらに強固な協力関係を結び、中国での一層の事業拡大を図ってまいる所存であります。

※長春グループにつきましては、こちらのホームページ(<http://www.ccp.com.tw/>)をご覧ください。

長春応化(常熟)有限公司の概要

- (1) 社 名 長春応化(常熟)有限公司 (CHANG CHUN TOK (CHANGSHU) CO., LTD.)
- (2) 所 在 地 江蘇省常熟經濟開發区沿江工業区長春路
- (3) 設 立 2004年10月
- (4) 資 本 金 730万米ドル (約8億円)
- (5) 出資比率 東京応化工業株式会社 51% 長春石油化学股份有限公司 49%
- (6) 代 表 者 董事長 小峰 孝 (東京応化工業株式会社 取締役常務執行役員 開発本部長)
- (7) 事業内容 半導体、液晶ディスプレイ製造用シンナー・フォトレジスト現像液の製造、販売
- (8) 面 積 敷地面積約11,800㎡ 延べ床面積約4,700㎡
- (9) 設備投資 約10億円
- (10) 売上規模 10億円 (2008年)
- (11) 従業員数 14名

1 / 2

◆本件に関するお問い合わせは◆

東京応化工業株式会社 広報部

〒211-0012 川崎市中原区中丸子150番地 TEL. 044-435-3000(代) FAX. 044-435-3020

<http://www.tok.co.jp/>

■長春応化(常熟)有限公司



以 上